

坑口統合で不満続出

設備、環境の早急な改善を

人車の改造 バイク置場も

昨年十月から三坑体制になって
いたが、いよいよ一月五日から坑
口統合となり、旧四山鉱の労働者
も、旧三川鉱の坑口から昇坑す
るようになった。

港沖から三川鉱へ移ってきて、
随所にある設備や環境の不備につ
いて労働者は不満をブチまけてい
る。

それは一つは駐車場であり
(二番方では不足するのではない
か?)、とくにバイク置場が小さ
く、各所に散在しているため、バ
イクを置くのに場所を探してまわ
らなくてはならないなど。

脱衣所のロッカーが狭苦しいこ
と。ロッカーに付いているはずの
部品(タオル掛けや傘立てなど)
が付いていないものもある。

第一斜坑の人手やベルト御坑道
の人手に工具袋掛け金具が付いて
いない。

とくにベルト御坑道の人手は、



汚い洗場、なんとかならないか

お湯のアカが浮いて不潔だ。寒い
日などは身体がしんから暖まらない
まま風呂からあがらなくてはなら
ない。浴場の人に「もっとお湯を
出してくれ」と言うけど、これが
限界だとの答えだ。

浴槽の外側のコンクリートの小
砂利が浮き出ていて、ぬるぬるす
るので、風呂下駄では今にも滑り
こけそうな感じがする。

また、風呂あがりに、水をシャ
ワーでかぶる人にとっては、シャ
ワーがシャワーと水道の蛇口
であり、不満の大半はやはりでき
る。そのままだと出るのが不満だ。
さらに、線り込み場の煙草の煙
が充満するので、煙草を吸わない
人のためには、煙を除去する設備
が必要である。

以上のようなことは、旧四山鉱
ワーカーから人にとっては、シャ
ワーでかぶる人にとっては、シャ
ワーがシャワーと水道の蛇口
であり、不満の大半はやはりでき
る。そのままだと出るのが不満だ。
さらに、線り込み場の煙草の煙
が充満するので、煙草を吸わない
人のためには、煙を除去する設備
が必要である。

今から思えば洗う場所がなかつ
たのではないかと。立ったまま
で身体から頭まで洗い、石けん
のアワがついたまま浴槽にとび込
んで洗うという状態だった。もっ
と以前は汚れた地下足袋、作業衣
を着たまま浴槽にとび込み、洗
濯と身体洗いまで一緒にすませる
状態だった。洗濯場が少ししか
なかったからだ。今の洗濯場の状
態では(洗っているうしろで待っ
ている)いつ以前にもどってもお
かしくない。

駐車場に浴場 脱衣場もだ

坑口統合によっていろいろの不 満が出ている。

(イ) 駐車場で車を入れるのにひと
苦勞する。

(ロ) 雨の日、自転車、バイクの人
は合羽の置き場がない(そのま
ま自転車、バイクに掛けている。
紛失したときは会社は責任と
てくれるのだろうか?)。

(ハ) 浴場の洗い場が狭い。少しあ
いている所へ「すみません」と
言って割り込まねばならない。

(ニ) 三川では第二斜坑の人手で積
み残しが出ているし、四山では
ベルト御坑道で積み残し寸前の
方ではないか。

(ホ) 浴場については、会社は「以前
は三千名をまかなっていたのだ
ら」という。

三千名の人員は二十五年以上も
前のこと。しかもその頃の浴場の
使い方は今のようにはきれいな使
い方ではない。

三川では第二斜坑の人手で積
み残しが出ているし、四山では
ベルト御坑道で積み残し寸前の
方ではないか。

(三分会 田中敬幸)

三池のたたかいとCCOの闘争

(二)

三池のたたかい その二

三池CCO裁判
弁護団団長 佐伯 静 治

百十三日のたたかいは自己批
判に基づいて、三池では職場闘
争が組織されました。職場闘
争には二つの機能があります。一
つは労働条件の確保獲得の手段
としての機能、もう一つは組合
の機能としての機能です。

第一の機能について三池の
労働組合の力は団結する者多数
の力です。大きな組織、た
とえば炭労という産業別

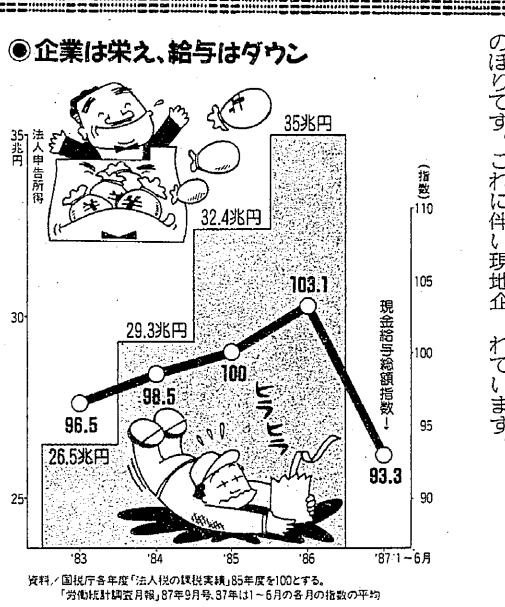
組織で、いい労働協約をかちと
るというのが本筋だろうと思
います。

しかし、それぞれの職場には
それぞれ作業条件が違いますか
ら、中央の労働協約で細かいこ
ころまで具体的に決めることは
できない。また、中央の労働協
約で決まったことも職場できち
んと守らせないと尻抜けになり
かねない。ここに職場で労働条

件について要求し交渉する必要
があるわけです。
日々、個所によって作業条件
の違う炭鉱では、その必要がこ
とに大きいわけです。なかでも
労働者の生命にかかわる保
安の問題が大きいと上げられ
るのは当然です。そして職場
交渉は当然大衆交渉となり、大
衆闘争が日常組織されること
になります。



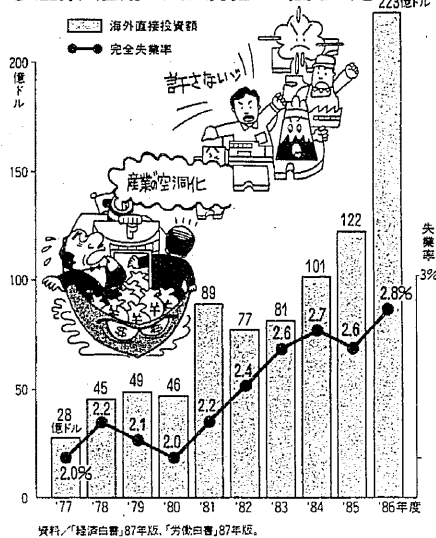
三池争議があのよう大きな
たたかいとなったのは、全国の
労働者の三池を守れという連帯
に支えられたからですが、全国
の労働者が三池を守らなければ
と立ち上がったのは、炭労とし
て三池の職場闘争が当時全国の
たたかう労働者のシンボルだっ
たからです。



③雇用「空洞化」へ歯止め

経済企画庁の調査によると、
業の雇用も約九十三万人に達し
ています。一方、完全失業率は
度で二百十三億ドルにのぼり、
二・八%と史上最悪。産業・雇
用「空洞化」への規制が求めら
れるのです。これに伴い現地企
業は、

●産業・雇用の「空洞化」へ歯止めを



88春闘グラフ解説

②企業は栄え、給与は低下

円高不況が叫ばれた八六年度
迷春闘と一時金ダウンを反映し
も法人税申告所得は増え続け、
給与は名目で前年より九・八ポ
イントもダウンし、四年前の水
準に逆戻り。水準回復へ大幅賃
上げは不可欠です。